



第35回世界トランポリン競技選手権大会

日本代表選考会 (男子)

11月18日～11月21日 アゼルバイジャン・バクー

【選考基準】

- 世界選手権において上位入賞（最低でも決勝進出）が見込める選手を選考する

【選考大会】

- 第一次選考会と最終選考会の2回の選考会にて日本代表を選出する
- 第一次選考会は「第7回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会（5月8日～9日）」とする
- 最終選考会は「第75回全日本体操競技種目別選手権大会時（6月4日～6日）」とする
- 第32回オリンピック競技大会（東京）においてメダル獲得選手（最上位者）を選出する

【選考方法】

- 第一次選考会終了時点でSAランクを保有している選手を内定とする
- 第一次選考会において合計得点（予選第1自由+第2自由演技+決勝演技）で1位になった選手を代表内定者とする
- 第一次選考会

男子：（予選第1自由演技+第2自由演技+決勝演技）の合計得点で順位を決定する（決勝進出は8名）

- ① 第一次選考会1位の選手は日本代表に内定する（選考方法1. で内定している選手を除く）
 - ② 選考会1位でも下記の派遣標準得点をクリアしていない場合は内定しない
 - ③ 最終選考会進出者は最大16名とし、上位者と協会推薦者とする（日本代表に内定している選手も出場することが出来る）
 - ④ SA、S、Aランク保持者（第7回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会終了時点）の中から協会推薦者として最大3名までは最終選考会出場権を与える（最大枠を使うとは限らない）
 - ⑤ 推薦者がいない場合は、成績上位から順に最終選考会の出場権を与える
 - ⑥ リザーブ選手は2名までとする（最終選考会予選最終グループマーチンまで）
4. 最終選考会（決勝演技は第2自由演技2本とする）

男子：予選第2自由演技、決勝演技の3本の内ベスト2本の合計得点で順位を決定する（決勝進出は8名）

- ① 最終選考会1位（選考方法1. 2. で内定している選手を除く）の選手を日本代表に決定する
- ② 2位以下の選手（選考方法1. 2. で内定している選手を除く）の得点と一次選考会の2位の得点を比較し上位順に選考する。比較する得点は第一次選考会の予選第2自由演技+決勝演技の合計得点とする
※ 一次選考会と最終選考会の点数が同点になった場合は、最終選考会での点数を優先とする
※ それぞれの選考会（第2自由演技合計）で同点となった場合は、1回の演技（第2自由演技）の最高得点を出した選手を優先とする
- ③ 派遣標準得点に達していない選手は原則派遣を見送るものとする
- ④ 日本代表選手は6名とする（5位6位の選手はシンクロナイズド競技代表として選出する）
- ⑤ シンクロナイズドは強化本部にてペアを決定する
- ⑥ 最終選考会の順位を元に、大会最終エントリーまでリザーバー（補欠）を準備しておく

| | | |
|----------|---------------|----------|
| 男子派遣標準得点 | 予選第2自由・決勝合計得点 | 113.000点 |
|----------|---------------|----------|